

2017.07.22

15:00-16:30

第20回 北大人文学カフェ



中国のマンガ????

れん かん が 連環画の世界



后来，爸爸觉得就这样地放一辈子羊，也还
得闹王债，心想：凭我光棍一个人，到那还不混口
吃，于是便一天晚上，爸爸放羊回来就把鞭子扔
他要远走他乡。

話し手：武田 雅哉さん

北海道大学大学院文学研究科 中国文化論講座 教授
〔中国文化、文学、芸術〕

2017年7月22日(土)
15:00~16:30 (14:30 開場)

紀伊國屋書店札幌本店
sapporo55ビル インナーガーデン(北5西5)

人文学Cafe

定員 約100名 参加費無料、事前予約不要。
当日直接会場にお越しください。

主催 北海道大学大学院文学研究科・人文学カフェ実行委員会
連絡先 北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

TEL:011-706-4083 E-mail:kenkyu@let.hokudai.ac.jp
<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>



中国の マンガ???

〈連環画〉の 世界

豊かなヴィジュアル・カルチャーを誇る中国にも、日本のマンガのようなものがありまして、これを〈連環画^{れんかんが}〉と申します。20世紀の初頭に上海で誕生し、全国に広がりましたが、近ごろでは姿を消しつつあります。中華民国時代には、その荒唐無稽な内容のために、政府からは悪書とされました。社会主義中国の時代になると、為政者は、その影響力の強さに目をつけ、プロパガンダの道具として利用し、こんどは良書の代表になりました。政治の風向きで、右に左にと翻弄されていた連環画でしたが、内容はどうあれ、いつも子どもたちを魅了しつづけていたようです。

そんな連環画は、そもそもどんなカタチなのだろう？どんな内容が描かれていたのだろう？どのように読まれていたのだろう？そこには〈？〉がいっぱいです。日本のマンガとはひと味ちがう〈連環画〉の世界を、現物を手に取りながら、のぞいてみましょう。



話し手の
プロフィール

武田 雅哉 (たけだ まさや) さん

北海道大学大学院文学研究科

中国文化論講座 教授〔中国文化、文学、芸術〕

1958年北海道生まれ。北海道大学大学院文学研究科修士課程修了、同博士課程中退。北海道大学文学部助手、助教授を経て、現職。『西遊記』の猪八戒をこよなく愛し、「異なるもの」に温かい眼差しを向ける独自の研究スタイルは「武田雅哉の世界」と呼ばれ、その世界観を紹介する企画展示が開催されるほど固定ファンが存在する。

著書は、『中国のマンガ〈連環画〉の世界』（平凡社、2017年）、『万里の長城は月から見えるの？』（講談社、2011年）、『中国乙類図像漫遊記』（大修館書店、2009年）、『楊貴妃になりたかった男たち』（講談社、2007年）など多数。北海道新聞の夕刊コラム「魚眼図」の執筆も担当。



お問合せ先

北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

TEL:011-706-4083

E-mail:kenkyu@let.hokudai.ac.jp

人文学カフェウェブサイト

<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>

北大人文学カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大人文学研究科との交流を深めていくことを目指しています。